

Into my Packet



後藤滋樹の

新・社会楽

第12回「サイバー感覚」

後藤滋樹 (goto@ntt-20.ntt.jp)
日本電信電話株式会社
ソフトウェア研究所

決めた。あたし今夜は性転換してやる。

という軽快(?)なテンポで始まる「ヴィーナス・シティ」(征悟郎)は第14回・日本SF大賞を受賞した力作である。ここで登場するのが双方向データスーツ。これをまよえば、あなたも妖しい仮想現実都市ヴィーナス・シティの住人になれる。

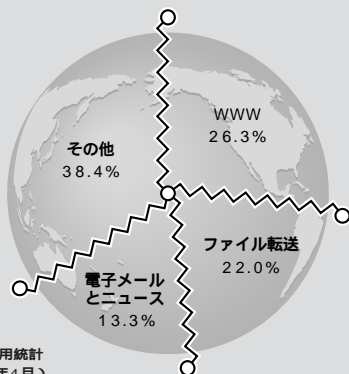
海外作品では、ネットワーク用語としての「マトリックス」の語源を提供した「ニューロマンサー」(ウィリアム・ギブスン)が有名である。こちらはヒューゴー、ネビュラ両賞受賞。ギブスはサイバーパンクの旗手だという。ニューロマンサーの冒頭にはチバ・シティ(千葉市)が登場する。

筆者は、サイバーパンク小説に登場する街の埃っぽさが気になる。むしろSFの中では心暖まる路線が好みだ。「マイクロチップの魔術師」(V・ヴィンジ)あたりがちょうどよい。同書の原題はTrue Names(真の名前)というのだが、それは《別世界》では別の名前が使われているという意味だ。

【インターネット感覚】

サイバー感覚についてはSF小説を楽しむとして、さて「インターネット感覚」とはどのようなものか。現代の流行病ともいわれるインターネットに関しては膨大な解説が溢れている。しかし、人によって何がインターネットであるか、という感覚が違うようだ。

現状の認識も千差万別らしい。たとえば「インターネットは遅くてイライラする」という人がいるのに対して、「それは高速のモデムやISDNを使えばよい」というアドバイスがある。かと思うと「いやいやあなたの利用しているプロバイダーから先の回線が細いのかも知れない」という忠告もある。



インターネットの利用統計
(米園NSFnet, 95年4月)

「インターネットは信頼性がなくてメールが届かないことがある」という人がいると思えば、「もし届かない場合にはエラーメッセージが返るでしょう」という指摘がある。しかし「差出人の解析ができないようなメチャメチャの状態ではエラーの戻しようもない」のも事実であるし、そんなケースがどの程度の確率で起こるかという感覚は人によって違うものらしい。

【感動を伝える電子メール】

ネットワークの利用法も人によって異なる。たとえばインターネットはWWW(ワールドワイドウェブ)のことでありと納得する向きがある。確かにWWWが利用統計の上では一番多いようだ。WWWを使うとマウスのクリックに世界中のサーバが反応するのだから、これこそがインターネット感覚であるという説も出てくる。

私もある友人に「パソコン通信とインターネットの違い」を何度説明しても理解してもらえなかったのが、「モザイク」を見せた途端に「百聞は一見にしかず」で通じた経験がある。

このようにWWWが目される反面で「インターネットはWWWだけではない」という主張もよく聞かれる。その場合に注目したいのは電子メールだ。筆者は「インターネットを使ってよかった」と思った経験が幾度もある。その愉快的思い出には、電子メールでうまく相手に気持ちが伝わったという感覚を伴っていることが多い。

【哲学者パスカル】

パスカル(仏、1623～1662)は「人間は考える葦(あし)である」という有名な言葉を残した。彼はまた「真空論序言」の中でつぎのような主張をしている。すなわち人類全体を一個の人間と見なせば、それは死ぬことはなく、宇宙が老いるにつれてたえず学んで前進する。

現状のインターネットでは、まだパスカルの説を実感できるような人類の一体感が醸し出されてはいないかもしれない。しかし人によっては敏感に、その傾向を指摘している。またSF小説の中には、人類の一体感をモチーフとして書かれた作品も見受けられる。

- (1) 征悟郎「ヴィーナス・シティ」早川書房 1992, ISBN 4-15-203538-2
- (2) ウィリアム・ギブスン(黒丸尚訳)「ニューロマンサー」早川文庫 SF 672
- (3) ヴァーナー・ヴィンジ(若島正訳)「マイクロチップの魔術師」新潮文庫 ウ-9-1
- (4) 前田陽一編「世界の名著24・パスカル」中央公論社 1966
- (5) 金子都容「ポランディア、もうひとつの情報社会」岩波新書(新赤版) 235, 1992 (pp.101-103のオメガポイントの記事に注目)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp